

山形地区少年軟式野球大会要項(2026)

山形地区野球連盟

1. 出場資格

- (1) 全日本軟式野球連盟規程第6条第3項(1)(少年部)に規定する中学生で構成されたクラブチームでなければならない。
- (2) 会員登録は同規程第10条によるものとし、第7項(2)のとおり硬式ボールを使用している団体に登録又は大会に参加している選手は連盟登録できない。

2. 試合方法

- (1) トーナメント方式とし、全試合7回戦または1時間30分以内とする。(1時間30分越えたら次のイニングには入らない、但し時間計測は大会事務局に委ねる)
- (2) 得点差によるコールドゲームは、3回10点差又は5回以降7点差とする。
- (3) 7回を終了、または1時間30分を経過して勝敗のつかない場合、1イニングに限り特別延長戦を行う。それでも勝敗がつかない場合は、最終選手9名による抽選により勝敗をつける。(特別延長戦は競技者必携参照)、特別継続試合は基本採用しない、5回を終了すれば試合は成立する
- (4) 少年の部の投球数制限を適用する。(投手の投球制限については、健康維持を考慮し1日の投球制限は100球以内、1週間350球以内-必携P53)

3. ベンチに入れる人数

- (1) ベンチに入れる人員は、監督1名、コーチ2名以内、選手10名以上25名以内及びチーム責任者(引率責任者・代表者)、マネージャー、スコアラー各1名とする。監督、コーチ、チーム責任者は成人とする。
- (2) 背番号は監督30番、コーチ29、28番、主将10番、選手は0番から99番。
- (3) 熱中症対策の為、必要に応じ選手の父母2名までのベンチ入りを認める。(登録不要)
- (4) 感染予防の為、用具消毒が必要と判断した場合はその担当者をグラウンド内に入ることを認める。(登録不要)

4. オーダー交換

- (1) 各チームは球場到着時に本部に報告し所定のオーダー表を受取、第1試合は試合開始予定時間30分前、第2試合以降は前試合の4回終了時、監督及び主将立会いのもと、本部席で行う。
- (2) テーピング等の必要な選手も同行し審判員の確認を受けること。

5. その他

- (1) 試合中、打者、走者、次打者、ベースコーチは全軟連公認の耳つきヘルメット、捕手はマスク、ヘルメット、プロテクター、レガースを着用すること。
- (2) ユニフォーム、帽子、ストッキングについては、全員同色、同意匠のものでなければならない。がそうでない場合も認める場合がある。(チーム責任者も同一帽子を着用すること)
- (3) 捕手のヘルメットはマスクと一体となっているものの使用禁止。また金属・ハイコンバットはJSBB公認のものを使用すること。(2029年から使用制限)
- (4) 試合中監督に限りグラウンドにでて指示することが出来る。
- (5) この大会要項によらない事項は競技者必携(2026)を基本とする。
- (6) 試合のスピード化に努めること。(競技者必携参照)
- (7) タイムの回数は7イニングスに3度以内とする。(守備及び攻撃ともに)
- (8) 抗議権を有する者は監督か当該プレーヤーのみ。
- (9) 地区予選会では開会式・開始式及びシートノックは行わないので注意すること。
- (10) 指名打者制度(DH制)を採用する。ただし「大谷ルール」は採用しない。
- (11) 学校単位のチームが全国少年野球軟式大会と全国中学校軟式野球大会への「ダブリ出場」はできない。H28から中体連県大会出場チームは少年県予選会の出場を認めない。
- (12) 試合球3個(M球)/1大会を持参すること。(返却はしない)

大会運営補助員のお願い

両チームからボールボーイ(大人可)と投球数のカウンターめくり及びSBOを両チームの大人(保護者)の方にご協力お願いいたします(3名/チーム)。審判については連盟審判員がおこなう。(要確認)

令和5年(平成29年度から) 全軟県大会への出場チームの考え方 (当地区連から県大会への出場チーム数は3チーム)

1. 基本的な考え方は、地区大会で優勝・準優勝及び三位までのチームが県大会に出場可能であればそのまま。
2. 優勝・準優勝及び三位のチームで中体連県大会出場するために全軟のチーム編成できない場合は、そのチームは中体連県大会を優先とするため、少年軟式野球大会の県大会には出場できない。

その場合は下記により県大会出場チームを決定する。

ア) ケース1

優勝・準優勝及び三位の内1チームが中体連の県大会に出場

第四位のチームを全軟少年軟式野球大会県予選会の出場権を与える。

イ) ケース2

優勝・準優勝及び三位のチームの内2チーム以上が中体連県大会に出場する為全軟大会でのチーム編成できない時。

五位から八位決め方は2回戦で負けた4チームについて2回戦の成績を対象として順位を決め、参加できないチームの代わりに全軟少年軟式野球大会県予選会の出場権を与える。

但し五～八位の中に中体連県大会出場チームが含まれる場合はそのチームを除き順次上位チームから決めていく。(五～八位の決め方は下記の通り)

ハ) ケース3

上記でも決められない場合は1回戦で負けた3チームに対しケース2と同じような考えで九位から十一位まで決め対応する。

一回戦敗退チームについて以下の順で順位を決める。(四～十一位)

- ①総失点が小さいチームを上位
- ②得失点率差が大きいチームを上位
- ③総得点の大きいチームを上位
- ④抽選

※定義(小数点3位までとし、4位以下は切り捨てとする)

得点率・・・総得点/総攻撃イニング数(小数点3位)

失点率・・・総失点/総守備イニング数(小数点3位)

得失点率差・・・得点率-失点率(小数点3位)

※イニング中で終了した場合についても1イニングとして計算する